

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(綿半建材株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・就業規則に記載。相談窓口などを設ける					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・就業規則に記載。相談窓口などを設ける					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・36協定を締結し労働基準監督署に届け出を出し、42時間を超えた場合や残業が多い時は産業医の面談等を行っている。 ・労使間で協定を結び取り組めている。 ・状況に応じてのリモートワークの環境も整いつつある。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・就業規則に記載				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全衛生委員会が活動で達成している。 ・月1回安全衛生委員会で社内のパトロールを行い、危険箇所の洗い出しを行い、共有し、前もって事故を未然に防ぐ努力をしている。また、社内には「安全衛生五箇条」を掲げている。 ・安全標語を社員から募集し優秀賞などを選び、意識の再確認を全社員でしている。				3				8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・年に1回ストレスチェックを行い、心の健康状態を把握し、必要な人には産業医のカウンセリングを受けられるようにしている。				3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・子育て中の女性、高齢者、障がい者が、十分に活躍できるように格差をなくしている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・社員全員に社内・社外の講習会、勉強会等に参加する機会を設けている。 ・資格取得等の講習会に参加している。 ・人材育成のため多能工化ジョブローテーションを実施している。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・人事制度を制定し、全員に給与の仕組みを口頭で説明している。また、いつでも確認できるように一人一人に冊子を支給している。 ・人事制度を運用し、待遇の公正化を図っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・健康経営優良法人認証を取得。 ・健康づくりチャレンジを宣言し、社員の健康増強に取り組んでいる。 ・ワクチンの補助休暇取得や熱中症対策費用を配布し、社員が健康に働けるようにしている。 ・健康講座を行ったり、健康に関するポスターを掲示している。				3				8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物を資源化可能なものと不可能なものを分別している。 ・産業廃棄物許可のある業者と取引をして、マニフェスト制度により適正に処理している。 ・産業廃棄物管理票にて適切な処理を行っている。産業廃棄物管理票は保管している。										11.6	12		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・エネルギー使用量・温室効果ガス排出量算出表を作成し、使用量を確認している。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・エネルギー使用量・温室効果ガス排出量算出表を作成し、使用量を確認している。							7.2 7.3					12.4	13.3				

14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本		・有機溶剤作業主任者を中心に、使用量を把握し、適切な方法で管理・保管している。		3.9		6.3					11.6	12.4				
----	--	----	--	---	--	-----	--	-----	--	--	--	--	------	------	--	--	--	--

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環 境	15 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・SGEC認証の取得。 ・各種廃液を処理業者に委託し、処理をしている。 ・自工場で処理できるものは、分解処理を行っている。						6.6								15			
	16 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・原材料を無駄なく効率的に使用。 ・木材を加工する時に出るおがくずを焼却せずに堆肥として近隣の畜産農家に提供したり、菌床として自然に還元している。 ・コピー用紙は裏面も再利用している。 ・森林由来木材の幹・枝葉・タンコロをバイオマス燃料として製品化												13		14.1			
	17 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレ ンジ			・水量を毎月チェックしている。						6.4 6.6											
	18 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレ ンジ		【予定】	【予定】ISOを取得できるように体制を整える。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	19 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレ ンジ			・会社案内・HPにて記載している。													12.6				
	20 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレ ンジ			・森林資源で今まで利用されていない木材をチップにし て木質バイオマス発電所に供給している							7.2							13			
	21 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレ ンジ			・木質バイオマス発電所にチップを供給する事により取 組んでいる。 ・県産材を積極的に利用し、安定供給に取り組んでい る。													12.2	13	14	15	
公 正 な 事 業 慣 行	22 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則に記載																16 16.5	
	23 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則に記載																	16
	24 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・商標登録や実用新案登録などを行っている。 (あづみの松、重ね梁)								8.2 8.3	9								
	25 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・特定個人情報等の取扱いに関する基本方針を定め ている。又、規定を定め、特定個人情報管理者の元全 員に周知している。																16	
	26 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレ ンジ			・鉱物を扱っていない。																	16
	27 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレ ンジ			森林経営計画を策定し、森林資源の循環・流通を担 う。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	28 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定してい る。			3					8	9	10							

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
「ここHINOKI」プロジェクト		・信州の木材（気候風土にあった木材）を使用することで、健やかに安心して暮らせる家の提供をし、循環型地域社会の形成、地域の活性化に取り組んでいる。																	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定